

## 厚幌ダム建設事業湛水式挨拶

ご紹介いただきました厚真町長の宮坂です。秋晴れの素晴らしい天気にも恵まれた本日の良き日に、待望の厚幌ダムの湛水式が挙行されますこと、誠におめでたく心からお喜び申し上げます。

この厚幌ダムの完成を心待ちにしている厚真町民にとって、本日の湛水式は歴史的な一日となります。ご承知の通り、母なる厚真川は、農業を基幹産業とする本町に様々な恵みをもたらしてまいりましたが、大自然の悠久の営みの中では、時として、町民生活の安心を揺るがす大きな脅威でもありました。水害のないまちづくりは、厚真町民の悲願となりましたが、こうして完成したダム堤体の威容を眼前にしますと、弛まぬ努力で治水技術を進歩させてきた先達の情熱に、感嘆するばかりであります。特に、この厚幌ダムは、最新技術を結集した台形 CSG ダムであります。優れた施工技術と確かな実績をもつ安藤ハザマ・岩田地崎・田中特定建設工事共同企業体が中核となり、西田鉄工株式会社他施工業者の皆さまが一致協力して、安全施工を旨としてこれまで種々の困難を克服され、本日を迎えられました。施工関係者の皆様に、改めて心から敬意と感謝を申し上げます。

振り返りますと、昭和 61 年に事業着手、平成 7 年にダム建設工事に着手、平成 22、23 年に事業の再検証、平成 28 年の野生希少種の保護中断と様々の出来事がありましたが、一貫して北海道や国土交通省をはじめとした関係機関のご尽力があり、また、何より幌内地区の皆様のご理解とご協力に支えられてまいりました。そして変わらぬ町民の皆様の熱意が、一丸となりこの大事業を動かしてまいりました。これまでの長い年月とご協力いただいたすべての皆様に、重ねて心から感謝申し上げます。

さて、今後はこの湛水試験を経て竣工に向かうこととなりますが、厚真川の改修工事、国営かんがい事業と大規模関連事業が同時施工されていますので、くれぐれも安全第一での予定内施行を関係業者の皆様にお願ひ申し上げます。

結びになりますが、本日ご参会の皆様のご健勝をご祈念申し上げて、ご挨拶といたします。

平成 29 年 10 月 2 日

厚真町長 宮坂 尚市朗